



町に関する話題など広報係が取材したできごとをご紹介します。

## 来るべき災害に備えて

### 令和元年度益城町総合防災訓練を実施

2月2日、津森小をメイン会場として令和元年度益城町総合防災訓練が行われました。

地域防災力の強化と災害に強いまちづくりを目指し行われたこの訓練には、津森小児童と保護者、各地区の自主防災クラブや町防災士連絡協議会など、24団体700人が参加。震度6強の地震と大雨による水害が併せて発生したと想定し、避難所開設訓練や避難訓練、倒壊家屋からの救助救出訓練などが行われました。

各団体による展示・体験ブースも開設され、参加者たちはブースを巡り、担当者からの説明を真剣に聞き、災害時に役立つ行動などを学びました。

また、災害時相互応援協定を結んでいる鹿児島県始良市から支援物資が運び込まれ、同市の庄村幸輝しょうむらこうき危機管理監から西村町長へ報告されました。

続けて行われた県防災消防ヘリコプターを使用しての救助訓練では、県防災消防航空隊と益城西原消防署が協力し、校舎屋上に取り残された人を救出。参加者たちは、ヘリの風にあおられながらも真剣に見入っていました。

最後に、訓練を兼ねた炊き出しが振る舞われ、参加者は疲れた体を癒やし、訓練を終えました。



**1**参加者が集合 **2**ヘリコプターで校舎屋上の人を救出 **3**津森小児童の避難訓練。防災頭巾をかぶって校庭に避難 **4**～**6**倒壊家屋からの救助救出訓練 (**4**自主防災クラブと消防団 **5**益城西原消防署 **6**陸上自衛隊第42 即応機動連隊) **7**津森小を代表して感想を述べた山田美憂やまだ みゆうさん **8**始良市庄村危機管理監が支援物資の運び入れを報告 **9**～**10**展示・体験ブース (**9**キックマンこころダイニング株による防災食の実演 **10**水消火器で操作を体験 **11**熊本地方気象台が防災気象情報の活用方法を説明 **12**国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所による浸水ドア体験 **13**株コマンドディーによるドローン展示 **14**トヨタカローラ熊本株によるハイブリッド車からの給電実演 **15**自衛隊車両の展示 **16**避難所運営計画の展示 **17**くまもと災害ボランティア団体ネットワーク(KVOAD)が災害に役立つ福祉用具などを説明 **18**九州電力株熊本東配電事務所による災害時の停電復旧対応の説明) **19**婦人防火クラブが作ったおにぎり、津森自主防災クラブと町防災士が作った豚汁で舌鼓

